

地域防災の要である消防団員の減少が続く中、県は団員やその家族が登録店で飲食や買い物すると、割引などのサービスを受けられる「みやぎ消防団応援プロジェクト」を12月からスタートさせた。地域を挙げて団員の確保につなげるのが狙いで、サービスを提供する「応援登録店」を広く募っている。

県内の消防団員数は12月現在、約1万9900人。ピークだった昭和40年代の2万8500人から毎年1000〜3000人のペースで減り続けている。気仙沼市では本吉町と合併し21年9月時点で860人だったが、現在は799人。定数900人に対して充足率は88%となっている。

消防団員の中心を占めていた、比較的時間に融通が利く1次産業従事者や自営業者が減り、サラリーマンが増えたことや、少子化の影響もある」などと分析する。

同プロジェクトは、消防団員が「応援登録店」でカードを提示すると、割引やドリンクサービスなどの優遇が受けられるシステム。

気仙沼図書館の移動図書館車「おおぞら号」が、来月1カ月間運休する。館内のシステム更新のため、合わせて17日からは、市内にある三つの図書館

すべてが休館する。運休は、蔵書の貸し出しや返却を管理しているデータベースを更新するため。現在活用しているものは古く、作業の効率化やセキュリティ面の強化などを図るのが狙い。

12月中の運行期間中に貸し出した本は、2月の運行再開まで借りることができる。

三陸沿岸道路の気仙沼道路、唐桑高田道路の施工業者でつくる気仙沼・唐桑地区安全協議会(葛城敏英会長)は22日、国土交通省が展開する「マナーアップみやぎ運動」への参加を発表した。

成長からオタマジャクシ

ホヤの生殖を学ぶ

気仙沼市立松岩小学校(菅原輝夫校長)で18日、ホヤを観察する研究授業が行われた。児童たちは、解剖や観察を通して生殖の仕組みを学んだ。



ホヤの解剖に挑戦する児童

総合的な学習の一環で、宮城教育大学と連携して実施。同大学関係者や市内小、中、高の教諭などが授業を

来月おおぞら号運休
3図書館も16日から休館
気仙沼

受精卵の中には、すでに幼生の形になっているものもあり、オタマジャクシのような形からホヤになることを知ると、児童たちから驚きの声があがった。

実質的なシステム更新は17日からで、これに合わせて、気仙沼、本吉、唐桑の3館が休館する。気仙沼、唐桑は施設全体が利用できなくなるが、本吉は閲覧室や学習スペースを利用できる。

同協議会は12事業所、共同企業体で組織。工事作業車両の事故防止に向けて運動に参加し、①薄暮時のライト点灯②子供と高齢者を見たらスピードダウン③ぬれた路面でのスピード1割減一を実

説

師走も半ばに入り、今年も残すところ

署名を集めて飲酒運転しないことを誓う団体がある。繰り返し注意

片山祥子教諭から茶色い部分が卵(らん)、白い部分が精子だと教わり、実験で採取した卵と精子、事前に受精させておいた受精卵を顕微鏡で観察。

鮮魚市況		18日	
市況	強保合。	メス	九二一
鮪延縄	一隻 五〇・九ト	オス	二二〇
小船	六〇〃 五五ト	スルメ	三六〇
釣スルメ	二〃三二五ケース	ヤリ	二七七
キロ当たり税抜		アナゴ	一六五〇
(高値)	(下値)	マグロ	九三七
メカ	一六三〇	水タコ	七〇〇
ヨシキリ	二二〇	サケ/定置	
ヒラメ	二四一〇	メス	九二一
アイナメ	二一九〇	オス	二二〇
	三〇〇	スルメ	三六〇
	四八〇	ヤリ	二七七
	三〇人二九五〇	12人	五〇八〇
	バラヤリ	15人	四四〇〇
	スルメ	20人	四〇六〇
		25人	三五八〇
		30人	二九五〇
		15人	三三九〇
		20人	二八〇〇
		25人	二四六〇